

## 算数オンライン塾 2月25日の問題 解説

---

(解説)

4つの連続する整数は必ず偶数が2つ入り、かつ4の倍数が1個は必ずはいるので2で3回割り切れることになります。

しかし、それ以上に2が入るためには4の倍数のところが8の倍数でなければ、あと1回割り切れないことになります。

つまり $5 \times 6 \times 7 \times 8$ 、 $6 \times 7 \times 8 \times 9$ 、 $7 \times 8 \times 9 \times 10$ 、 $8 \times 9 \times 10 \times 11$ は4回割り切れます。

次の8の倍数は16ですから。

$13 \times 14 \times 15 \times 16$ 、 $14 \times 15 \times 16 \times 17$ 、 $15 \times 16 \times 17 \times 18$ 、 $16 \times 17 \times 18 \times 19$ の4つは2で4回以上割り切れます。

その次は24になるので

$21 \times 22 \times 23 \times 24$ 、 $22 \times 23 \times 24 \times 25$ の2個で終わりになります。

したがって  $4 \times 2 + 2 = 10$  個

(答え) 10個